

## JPA 燃料用優良木質ペレット品質規格の改訂について

JPA の品質規格改訂につきましてお知らせ申し上げます。

木質ペレットの国家規格である JAS がもう間もなく、公布される予定です。しばらくは JPA の規格と JAS の規格と平行して行っていく形になることが想定されます。JPA 規格の参考規格である ISO 規格は、グローバルな規格であることもあり、いずれ移行していくこととなります。その為、木質ペレット認証審査委員会では、JPA と ISO の規格と比較して、移行できないかについて、JPA の品質規格の改訂及び認証を含め審議が行われました。

委員会審議では、品質規格の項目ごとに ISO と JPA の品質規格との比較を行い、各項目の数値を JAS に合わせても問題ないとの結論が出されました。

この結果を受け、JPA 事務局にて JPA 品質規格改訂案を作成し、理事会にて改定案が承認されました。つきましては、2023 年 4 月 1 日より改訂版 JPA 品質規格を適用いたしますので、ご案内申し上げます。尚、品質規格改定項目は下記に示す内容になります。

### 【品質規格改定項目及び内容】

項目	改定 JPA 品質規格	現行 JPA 品質規格	備考
原料の起点と由来	A1, A2,B とも共通	A,B,C とも共通	
かさ密度：kg/m <sup>3</sup>	600 ≦ BD ≦ 750	650 ≦ BD ≦ 750	ISO 緩い。
機械的耐久性： w-%到着ベース	A1：D006:DU ≧ 98.0 A1：D008:DU ≧ 97.5 A2：DU ≧ 97.5 B：DU ≧ 96.5	A,B：DU ≧ 97.5 C：DU ≧ 96.5	ISO では 6 mmペレットのみ厳しい。
灰分： w-%無水ベース	灰化測定温度 550°C	灰化測定温度 815°C	基準異なる。
硫黄： w-%無水ベース	A1：S ≦ 0.04 A2,B：S ≦ 0.05	A,B：S ≦ 0.03 C：S ≦ 0.04	ISO 緩い。
窒素： w-%無水ベース	A1：N ≦ 0.3、A2：N ≦ 0.5 B：N ≦ 1.0	A,B：N ≦ 0.5 C：N ≦ 1.0	ISO 厳しい。

注) 試験方法については、ISO に準じる。

下記項目は、2021 年版 ISO 品質規格のその他の参考項目になります。

灰の溶融挙動：°C	DT ≧ 1200	記載要求なし	DT:灰軟化点 測定装置入手難
粗いペレット微粉 CPF：質量%	記載することが望ましい (3.15mm ≦ CPF < 5.6mm)	—	
粒子密度 DE：g/cm <sup>3</sup>	記載することが望ましい	—	